

EcoKeeper

Excel レポート作成ユティリティ

取説

2019年4月17日

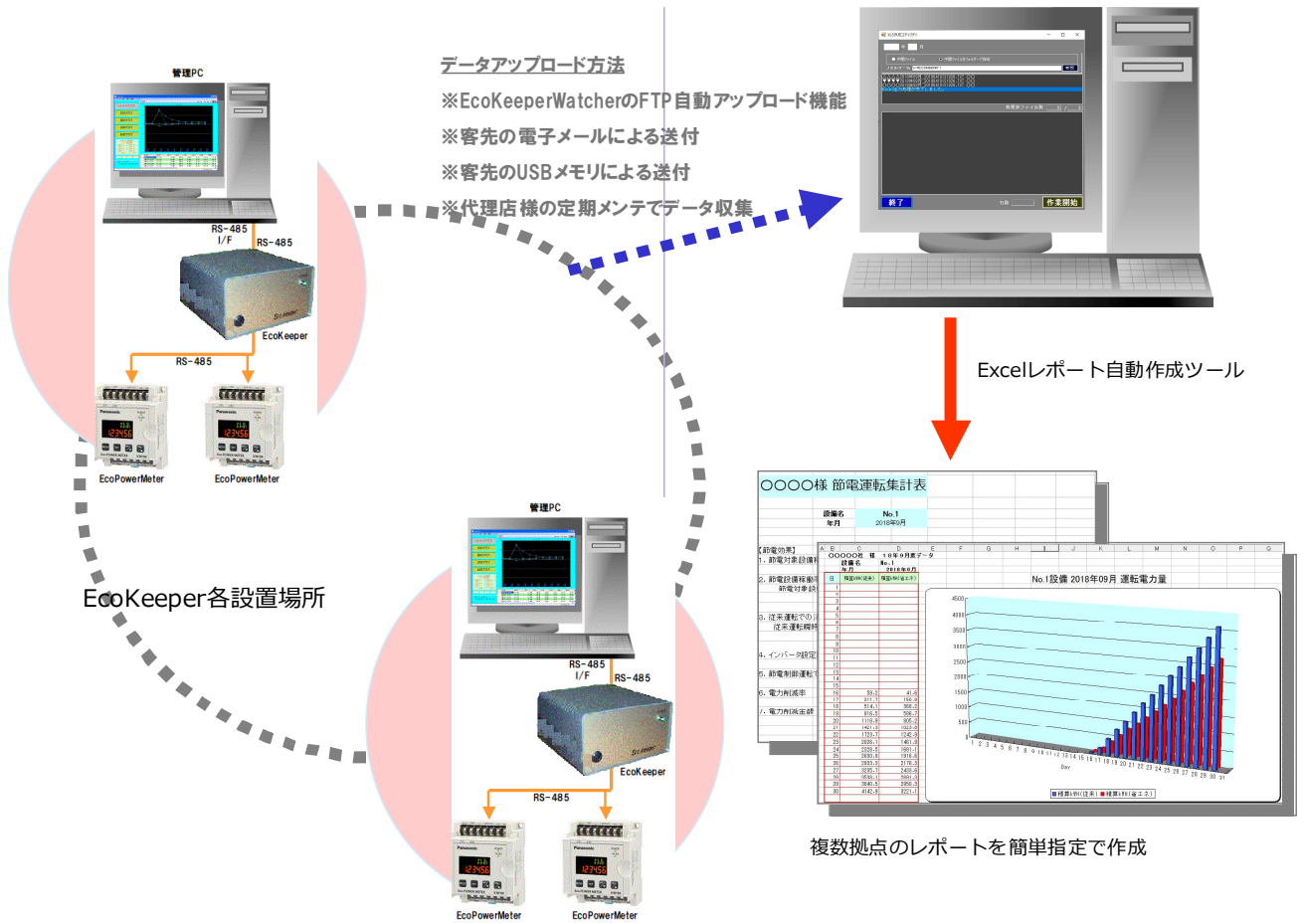


目次

1.概要	2
1.1 システム構成	2
1.2. 起動画面	3
2.操作画面	4
2.1 中間ファイルを指定	4
2.1.1 ファイル開くダイアログ	4
2.1.2 作業中画面	5
2.1.3 作業完了画面	6
2.2 中間ファイルのフォルダーを指定	7
2.2.1 「フォルダーの参照」ダイアログ	7
2.2.2 フォルダー選択直後画面	8
2.2.3 作業中画面	9
2.2.4 作業完了画面	10
A1.フォルダー構成	11
A2.Excel 出力用中間ファイル例(△△△△2018年09月_20190410121026.TXT)	13
A3.Excel レポートの集計表	14
A4.Excel レポートの積算値グラフ	15
A4-1.積算値グラフ 例その1	15
A4-2.積算値グラフ 例その2	16
A4-3.積算値グラフ 例その3	17

1. 概要

1.1 システム構成



1.2. 起動画面

Excel レポート作成ユーティリティを起動すると、下記のように画面が表示されます。



ここで、

※ファイル選択方法

オプションボタン(ラジオボタン)の操作により、中間ファイル(Excel 出力用中間ファイル)を指定するか、中間ファイルが格納されているフォルダーを選択することが出来ます。フォルダーを指定した場合、該当フォルダー下のすべての中間ファイル(TXT ファイル)の Excel レポートの作成を行います。

※ファイル名/フォルダー名

上記ファイル選択方法によって、ここにファイル(中間ファイル、TXT ファイル)を指定するかまたはフォルダーを指定します。

※参照

参照ボタンによりファイル選択またはフォルダー選択ダイアログが表示され、ファイル選択方法において中間ファイルを選択した場合、中間ファイル(TXT ファイル)が選択できるようになります。この時のデフォルトフォルダーは「C:¥EcoKeeper1」です。フォルダーを指定の場合、フォルダーを選択できるようになります。この時のデフォルトは「C:¥EcoKeeper1」です。

※年月の入力

本システムでは年月を入力する必要はありません。

※作業開始

作業開始ボタンのクリックで Excel の出力処理を開始します。

※終了

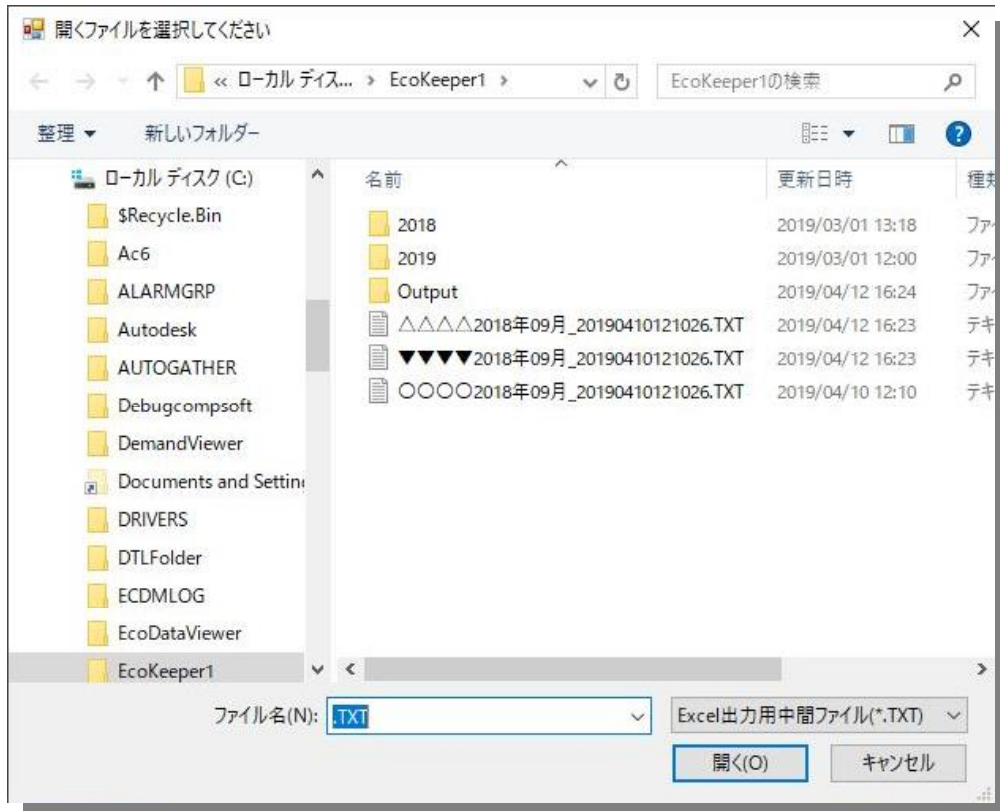
本プログラムの終了となります。

2. 操作画面

2.1 中間ファイルを指定

「中間ファイル」を選択してから、「参照」ボタンで下記画面が表示されます。

2.1.1 ファイル開くダイアログ



初回、「C:\EcoKeeper1」フォルダー下の内容が表示されます。

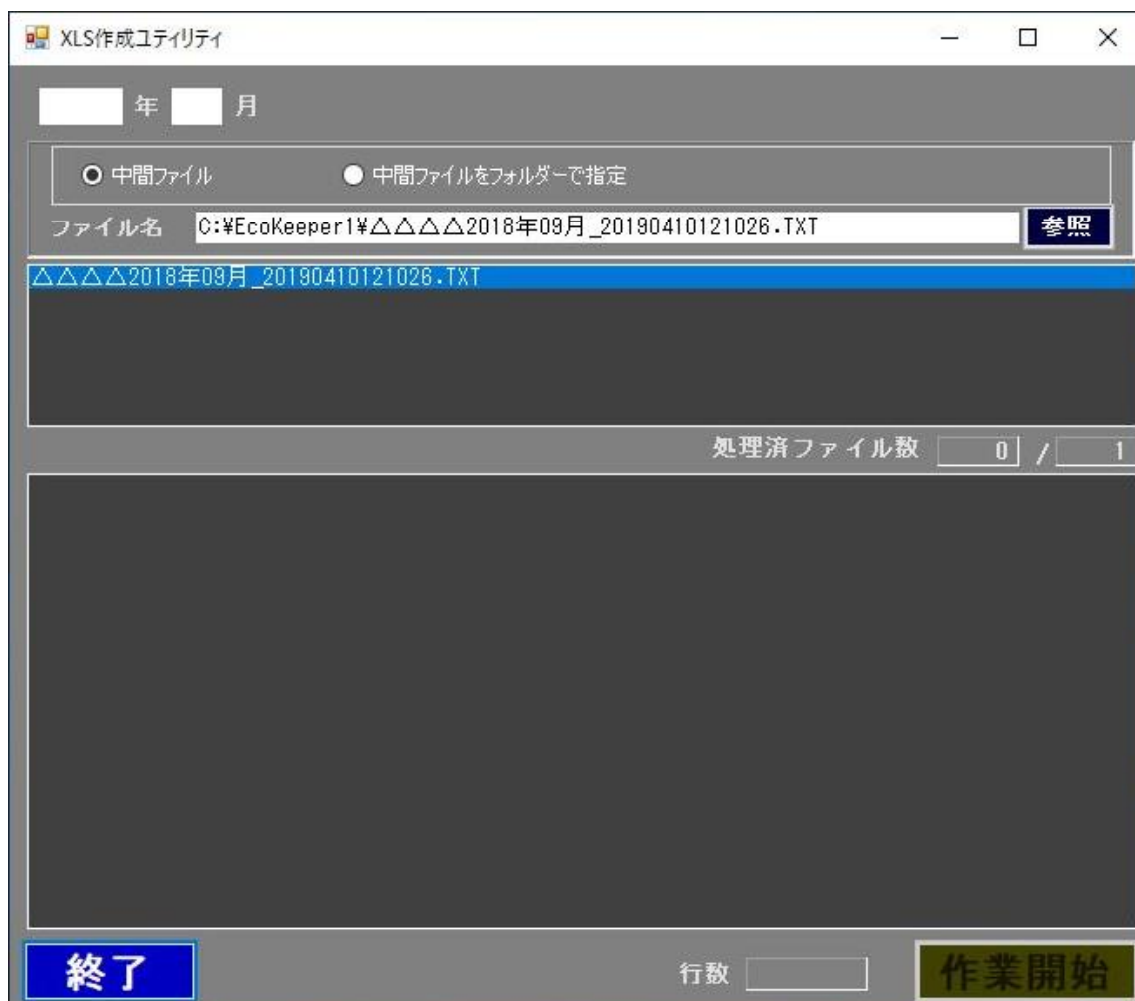
基本的に、EcoKeeperWatcher で作成した中間ファイルは「C:\EcoKeeper1」フォルダー下に格納されます。

USB メモリ等、他のフォルダーを選択する場合、上記画面を操作して当該フォルダーを選択します。

最後に、中間ファイルを選択して、画面右下の「開く」ボタンをクリックします。

2.1.2 作業中画面

「ファイルを開く」ダイアログでファイルを選択し、メイン画面に戻ると下記画面のように「ファイル名」入力フィールドに選択したファイル名が表示されます。



上記画面は、画面右下の「作業開始」ボタンをクリックした時の画面例です。上部のリストボックスに選択したファイル名(パスなし)が表示されます。「作業開始」ボタンは操作不可状態になり、処理中であることを示します。

2.1.3 作業完了画面

作業が完了すると、下記画面にのように上部リストボックスのファイル名の後に〇〇が表示され、更に、「Excel 出力処理が完了しました」というメッセージが表示されます。



ファイル名の後に続く〇〇ですが、先頭の「〇」は中間ファイルの読込処理が正常に完了したことを表します。次の「〇」は Excel 出力処理が正常に完了したことを示します。

また、上部リストボックスの右下あたりの処理済ファイル数の欄に「1 / 1」

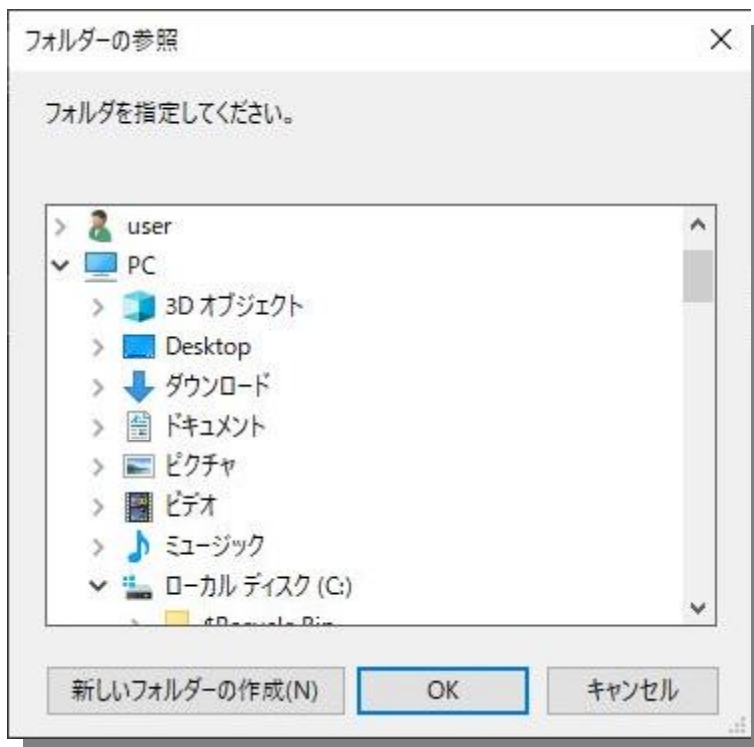
と表示されます。

1 個の中間ファイル処理について、1 個完了したことを示します。

2.2 中間ファイルのフォルダーを指定

「中間ファイルをフォルダーで指定」を選択してから、「参照」ボタンで下記画面が表示されます。

2.2.1 「フォルダーの参照」ダイアログ



初回、「C:\EcoKeeper1」フォルダーがされている状態です。

基本的に、EcoKeeperWatcher で作成した中間ファイルは「C:\EcoKeeper1」フォルダー下に格納されます。

従って、このまま「OK」ボタンをクリックします。

USB メモリ等、他のフォルダーを選択する場合、上記画面を操作して当該フォルダーを選択します。

最後に、中間ファイルフォルダーを選択して、画面右下の「OK」ボタンをクリックします。

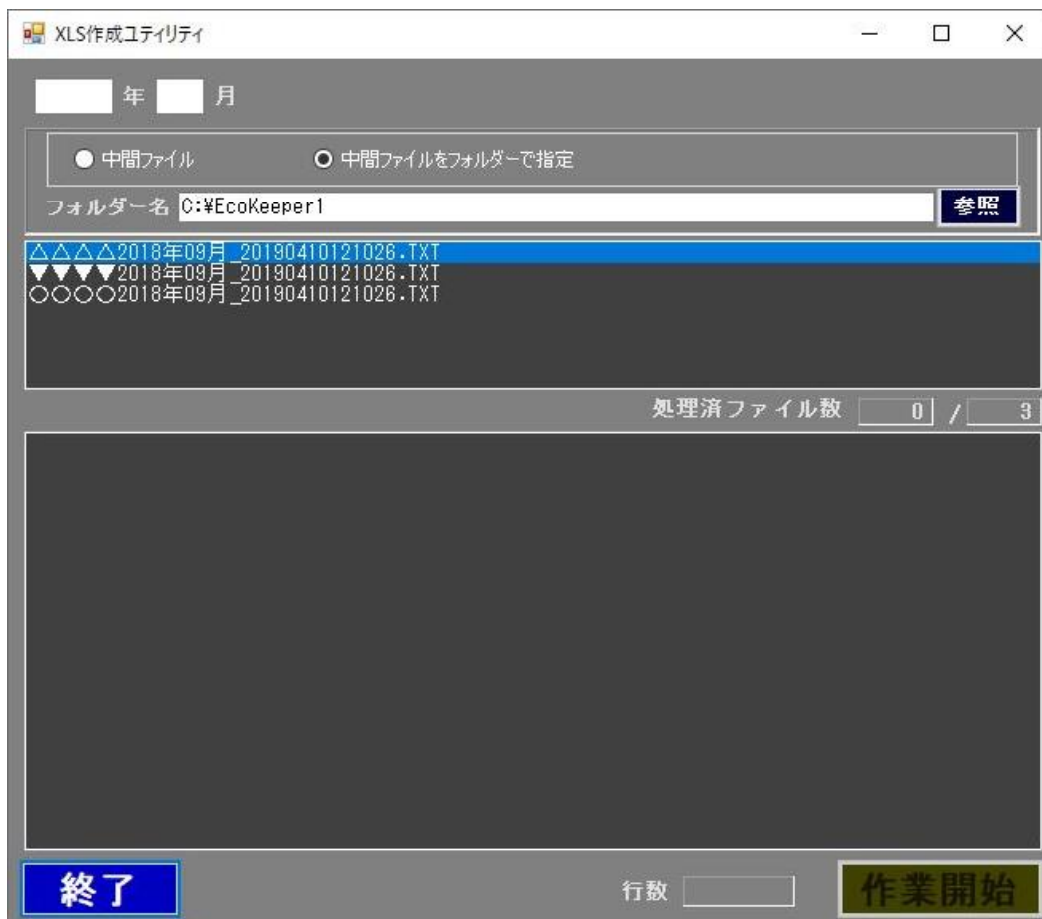
2.2.2 フォルダ選択直後画面

「フォルダの参照」ダイアログでフォルダを選択し、メイン画面に戻ると下記画面のように「フォルダ名」入力フィールドに選択したフォルダ名が表示されます。（「中間ファイルをフォルダで指定」を選択すると、ファイル名入力フィールドはフォルダ名入力フィールドになります。）



The screenshot shows a window titled "XLS作成ユーティリティ" (XLS Creation Utility). At the top, there are input fields for "年" (Year) and "月" (Month). Below these are two radio buttons: "中間ファイル" (Intermediate File) and "中間ファイルをフォルダで指定" (Specify folder for intermediate file). The second option is selected. A text field labeled "フォルダ名" (Folder Name) contains the text "C:\EcoKeeper1". To the right of this field is a blue button labeled "参照" (Reference). Below the folder name field is a large dark gray area. At the bottom right of this area, there is a label "処理済ファイル数" (Number of processed files) followed by a counter showing "1 / 1". At the bottom of the window, there is a blue button labeled "終了" (End), a label "行数" (Number of rows) followed by an empty input field, and a green button labeled "作業開始" (Start Work).

2.2.3 作業中画面



上記画面は、画面右下の「作業開始」ボタンをクリックした時の画面例です。
上部のリストボックスに選択したフォルダー下にあるすべての中間ファイルのファイル名
(パスなし)が表示されます。
この場合、選択したフォルダー下に3個の中間ファイルが格納されています。

「作業開始」ボタンは操作不可状態になり、処理中であることを示します。

2.2.4 作業完了画面

全ての間接ファイルの処理が完了したら、下記画面のように「Excel 出力処理が完了しました」メッセージが表示されます。



上記画面の例では、指定フォルダーに3個の中間ファイルがありますので、処理済ファイル数が「3 / 3」になります。

これで、処理が終わりましたので、「終了」ボタンで本プログラムの終了となります。

A1. フォルダ構成

EcoKeeperWatcher において、データフォルダの構成は下記の通りです。

```
C:\EcoKeeper1
|--2018
|   |--00
|   |--01
|   |--02
|--2019
|   |--00
|   |--01
|   |--02
|--Output
|
|   △△△△2018年09月_20190410121026.TXT
|   ▼▼▼▼2018年09月_20190410121026.TXT
|   ○○○○2018年09月_20190410121026.TXT
```

C:\EcoKeeper1 直下に EcoKeeper1 というフォルダが作成されます。

更に、2018、2019 など年のフォルダがあります。

各「年」のフォルダは

「00」「01」「02」

の各フォルダによって構成されます。

※「00」 EcoKeeper から取得した計測データ

※「01」 EcoPowerMeter その1 の電力データ

※「02」 EcoPowerMeter その2 の電力データ

また、上記例のように C:\EcoKeeper1 直下に

△△△△2018年09月_20190410121026.TXT

▼▼▼▼2018年09月_20190410121026.TXT

○○○○2018年09月_20190410121026.TXT

各中間ファイル(Excel 出力用中間ファイル)が格納されています。

下記の構成図は「00」...「Output」フォルダー下にあるファイルを含めて表示する例です。

```
C:\¥EcoKeeper1
|--2018
|   |--00
|   |--01
|   |--02
|--2019
|   |--00
|       20190301.TXT
|   |--01
|       20190301.TXT
|   |--02
|       20190301.TXT
|--Output
    △△△△2018年09月_20190415094816.xls
    △△△△2018年09月_20190415094855.xls
    ▼▼▼▼2018年09月_20190415094903.xls
    ○○○○2018年09月_20190415094909.xls
    ○○○○2018年09月_20190415111848.xls

    △△△△2018年09月_20190410121026.TXT
    ▼▼▼▼2018年09月_20190410121026.TXT
    ○○○○2018年09月_20190410121026.TXT
```

「00」「01」「02」の各フォルダー下に
20190301.TXTのように年月日をベースにしたファイル名になっております。
各TXTファイルには1時間毎の情報が格納されている1日分のデータが格納されています。

Outputフォルダーには、Excelレポート出力ユーティリティによって作成されたxlsファイルが格納されます。

Excelレポートファイルのファイル名は下記の要素によって生成されます。

例) ○○○○2018年09月_20190415111848.xls

○○○○ :客先名 (中間ファイルより)

2018年09月 :処理するデータの年月 (中間ファイルより)

20190415111848:Excelファイルを作成開始した年月日時分秒

従って、例え同じ中間ファイル进行处理しても作成されたExcelファイルは同じファイル名にはなりません。

備考)

Excel出力用中間ファイル名も同様です。(ファイルの拡張子は異なります)

A2. Excel 出力用中間ファイル例(△△△△2018年09月_20190410121026.TXT)

参考までに Excel 出力中間ファイルの内容は下記の通りです。

[BASEINF]

ITEM01="△△△△"

ITEM02=様

ITEM03="No. 1"

ITEM04=12. 6

ITEM05=12. 6

ITEM06=2. 25

ITEM07=円

[AGGREGATE1]

ITEM01=328. 8

ITEM02=45. 67

ITEM03=4142. 88

ITEM04=3089. 2

ITEM05=25. 4

ITEM06=166817. 0

[AGGREGATE2]

ITEM00=2018, 09, 332d214a2247303331302d702066474730333032

ITEM01=

ITEM02=

ITEM03=

ITEM04=

ITEM05=

ITEM06=

ITEM07=

ITEM08=

ITEM09=

ITEM10=

ITEM11=

ITEM12=

ITEM13=

ITEM14=

ITEM15=

ITEM16=34. 66, 59. 22, 4. 7

ITEM17=71. 47, 211. 68, 16. 8

ITEM18=264. 15, 514. 08, 40. 8

ITEM19=481. 96, 816. 48, 64. 8

ITEM20=700. 49, 1118. 88, 88. 8

ITEM21=919. 14, 1421. 28, 112. 8

ITEM22=1137. 91, 1723. 68, 136. 8

ITEM23=1357. 02, 2026. 08, 160. 8

ITEM24=1576. 10, 2328. 48, 184. 8

ITEM25=1798. 39, 2630. 88, 208. 8

ITEM26=2052. 79, 2933. 28, 232. 8

ITEM27=2310. 26, 3235. 68, 256. 8

ITEM28=2568. 17, 3538. 08, 280. 8

ITEM29=2825. 85, 3840. 48, 304. 8

ITEM30=3089. 20, 4142. 88, 328. 8

ITEM31=

[MONTHLY]

ITEM001=20180916, 120000, 01, 9. 2, 7. 75, 0. 9, 17. 5

ITEM002=20180916, 130000, 01, 9. 2, 16. 88, 1. 9, 17. 5

.....

ITEM347=20180930, 220000, 01, 11. 8, 3209. 37, 327. 8, 36. 6

ITEM348=20180930, 230000, 01, 11. 8, 3221. 05, 328. 8, 36. 6

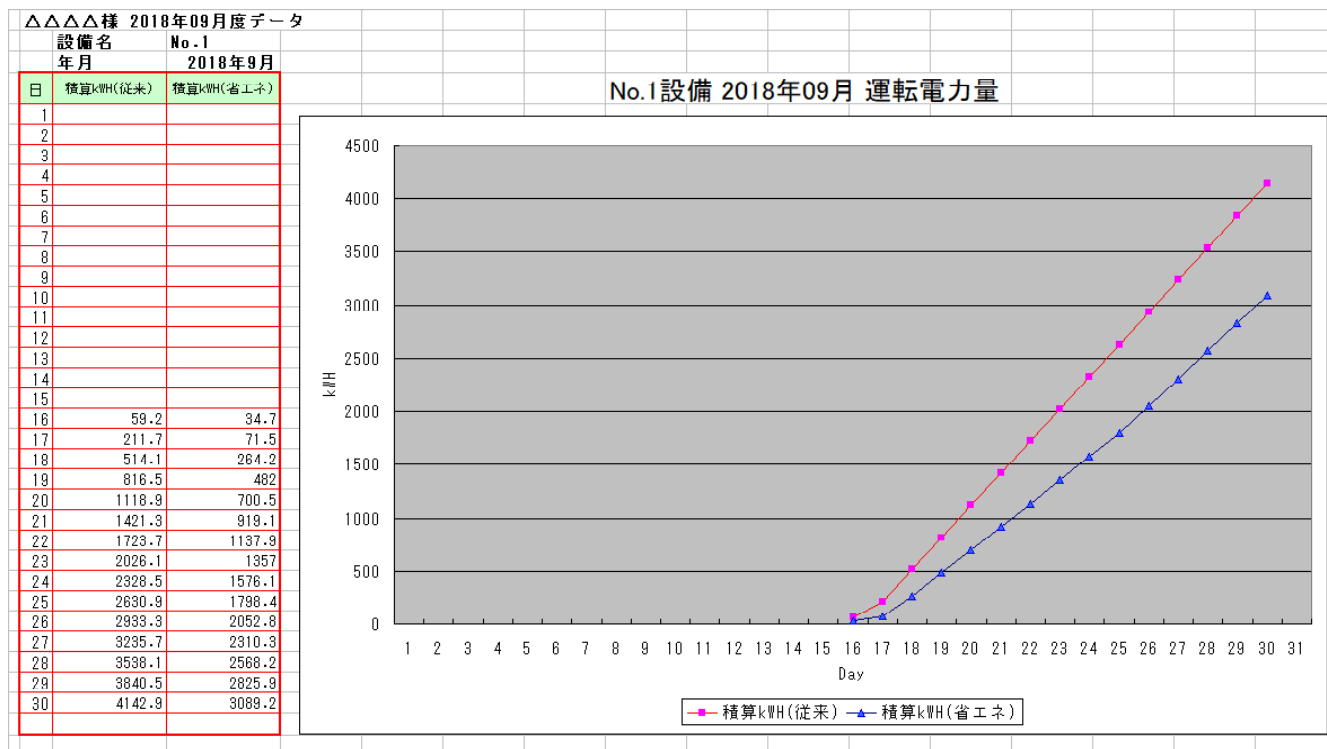
A3. Excel レポートの集計表

△△△△様 節電運転集計表				
	設備名	No.1		
	年月	2018年9月		
【節電効果】				
1. 節電対象設備稼働時間		328.8	時間	
2. 節電設備稼働率	節電対象設備稼働率(%) = 節電対象設備稼働時間(h) / 総時間(h) × 100			
				45.7%
3. 従来運転での消費電力量				
従来運転瞬間電力	12.6	kW		
	12.6	kW ×	328.8	時間 = 4,143 kWh/月
4. インバータ設定周波数	自動			
5. 節電制御運転での消費電力量				3,089 kWh/月
6. 電力削減率				25.4%
7. 電力削減金額	電気料金単価	2.25	円/kWh	
				2,371 円/月

客先名、従来運転瞬間電力量、電気料金単価および通貨単位は、ExcoKeeperWatcher の基本設定にて登録した内容が中間ファイルに出力され、その内容で Excel レポートが作成されます。

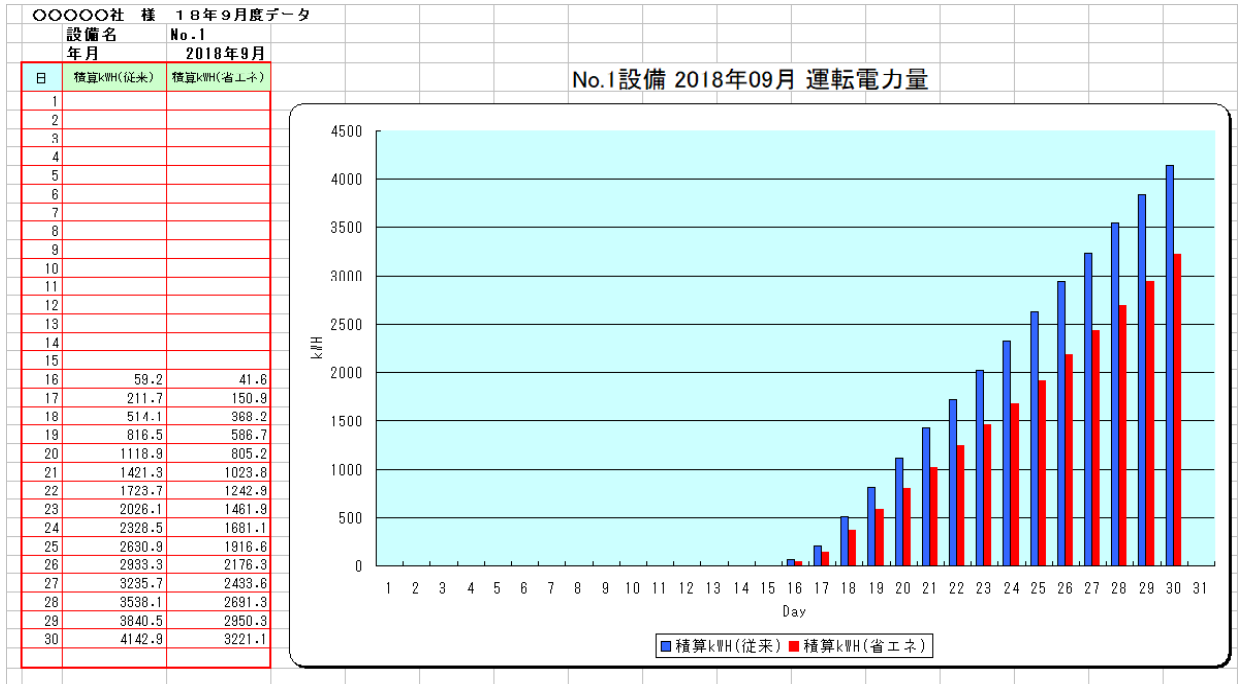
A4. Excel レポートの積算値グラフ

A4-1. 積算値グラフ 例その1



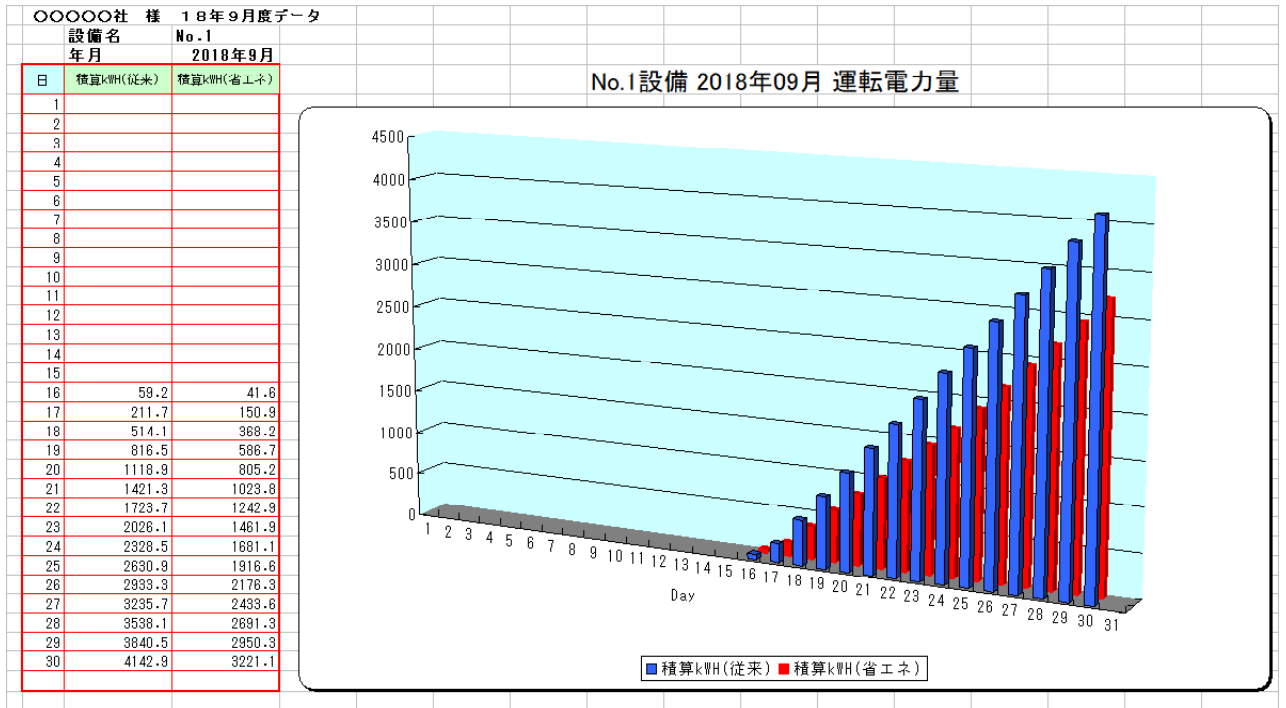
備考) グラフの変更はテンプレートファイルの修正により行うことができます。

A4-2. 積算値グラフ 例その2



備考) グラフの変更はテンプレートファイルの修正により行うことができます。

A4-3. 積算値グラフ 例その3



備考) グラフの変更はテンプレートファイルの修正により行うことができます。